

2020年9月30日

学校法人平和学園
平和学園小学校
2020年度 学校だより 第7号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
TEL 0467-87-1662/0131
FAX 0467-87-0411
URL <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

平和の花

実を結ぶ

年間聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15章5節

新型コロナウイルスが猛威を振るい感染拡大で世界中の日常が失われ、いつ平穏な日常に戻るかわからない不安と感染に対する恐怖が再び世界全体に広がっています。小学校でも新型コロナウイルス感染拡大防止の対策が継続して行われ、忍耐する学校生活を強いられています。しかし、新型コロナウイルスに対するワクチンと特効薬ができて世界に普及すれば、今のこの世界から解放され、行動範囲もできることも広がります。感染が防止できるまでの間、私たちは支え合いながら生き抜く必要があります。このような事態にも、聖書は私たちに勇気を与えます。

あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずですが。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。(コリントの信徒への手紙一 10章13節)

不平や不満がない時や自分が順調な時は、人は悩み苦しむことはありません。「なんで自分だけがこんなひどい目にあうのか。」と疑問を持った時や試練に襲われた時に、人は苦しみ、悩みます。人に相談できないこともあります。それは大人も子どもも存在します。この聖句の凄さは試練と共に逃れる道も神さまは用意してくれている事です。安心して前に進めるように神は聖書で希望の光を照らし、道を示しています。

上記の聖句は、フィギュアスケート選手の羽生結弦さんと水泳選手の池江璃花子さんの生き方にも大きな影響を与えました。二人が自分に襲ってきた試練を乗り越えた言葉として有名です。

羽生選手は冬季オリンピック前の大事な時期に骨折しました。オリンピックに間に合わないだろうと、大半の人が予想しました。しかし羽生選手は、この言葉を受け止めて這い上がり、オリンピックで金メダルを取り、観衆と国民に感動を与えました。

池江選手は日本新記録を次々に更新している絶頂期に、突然血液の癌、白血病が彼女を襲いました。プールに入る事も許されないばかりか入院し、最悪な状況からこの言葉に勇気をもらい、競泳の世界に復帰しました。

必然で行われていた学校行事は、昨年度途中まで保護者と共有してきました。今考えると、当たり前なことに感謝です。子どもの成長を保護者と教職員が共に見守り、知恵を出し合い、共有する道を模索して共に歩みたいと願っています。

